

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会
特別養護老人ホーム緑風園

目 次

令和元年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告	1～2
1. 理事会開催状況	1～2
2. 評議員会開催状況	2
入所者の処遇	3～5
(1) 生活援助・相談	3
(2) 個別処遇	3
(3) 給食サービス	3
(4) 医療サービス	3
(5) 入浴サービス	3～4
(6) リハビリテーションの実施	4
(7) レクリエーションの実施	4
(8) クラブ活動の実施	4
(9) 災害・事故防止	4
(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	4
(11) 「家族通信」の発刊（毎月）	5
(12) ホームページでの情報提供	5
<資料 1> 1. 在所者の人数	6
<資料 2> 2. 在所者の年齢階層	6
<資料 3> 3. 在所者の在所期間	6
<資料 4> 4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	6
<資料 5> 5. 在所者の要介護度	7
<資料 6> 6. 新規入所者の入所前居所	7
<資料 7> 7. 各月初日現在入所者数	7
<資料 8> 8. 施設監査等の状況	8
<資料 9> 9. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	8～9

令和元年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告

本会の会務運営並びに本会設置運営に係る特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）並びに短期入所生活介護（予防含む）（ショートステイ）緑風園の事業実施状況につき、次のとおり報告致します。

1. 理事会開催状況

◇R元. 6. 5（水） 午後2時00分

（場所：緑風園ダイルーム）

- ・報告第 1号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 2号 定期監査の報告について
- ・報告第 3号 平成30年度事業報告について（特別養護老人ホーム緑風園、デイサービスセンター緑風園、特別養護老人ホームニナルカの里、緑風園居宅介護支援事業所）
- ・議案第 1号 平成30年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部会計区分、特養緑風園会計区分、緑風園短期入所生活介護会計区分、デイ緑風園会計区分）並びにニナルカの里拠点区分（特養ニナルカの里会計区分、ニナルカの里短期入所生活介護会計区分、緑風園居宅介護支援会計区分）決算認定について（※決算内容説明並びに決算審査（監査）報告含む。）

◇R元. 6. 25（火） 午後2時00分

（場所：緑風園ダイルーム）

- ・議案第 2号 理事長及び業務執行理事の選任について

◇R元. 11. 28（木） 午後2時00分

（場所：緑風園ダイルーム）

- ・報告第 4号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 5号 定期監査の報告について
- ・報告第 6号 平成31年度（令和元年度）上半期（4～9月）の収支状況について
- ・議案第 3号 長期勤続職員顕彰規程の一部改正について

◇R2. 3. 26（木） 午後2時00分

（場所：緑風園ダイルーム）

- ・報告第 7号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 8号 定期監査の報告について
- ・報告第 9号 市並びに道の運営指導監査等の結果について
- ・議案第 4号 長期勤続職員顕彰規程の一部改正について
- ・議案第 5号 給与規程の一部改正について
- ・議案第 6号 平成31年度（令和元年度）社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部、特養・ショート、デイ）第一次補正予算（案）並びにニナルカの里拠点区分（特養・ショート、居宅）第一次補正予算（案）について
- ・議案第 7号 令和2年度事業計画（案）について（（特養・ショート）緑風園、デイ緑風園、（特養・ショート）ニナルカの里、緑風園居宅）
- ・議案第 8号 令和2年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部、特養・ショート、

デイ)当初予算(案)並びにニナルカの里拠点区分(特養・ショート、居宅)当初予算(案)について

2. 評議員会開催状況

◇R元. 6. 21 (金) 午後2時00分

(場所: 緑風園ダイルーム)

- ・報告第 1号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 2号 定期監査の報告について
- ・報告第 3号 平成30年度事業報告について(特別養護老人ホーム緑風園、デイサービスセンター緑風園、特別養護老人ホームニナルカの里、緑風園居宅介護支援事業所)
- ・議案第 1号 平成30年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分(法人本部会計区分、特養緑風園会計区分、緑風園短期入所生活介護会計区分、デイ緑風園会計区分)並びにニナルカの里拠点区分(特養ニナルカの里会計区分、ニナルカの里短期入所生活介護会計区分、緑風園居宅介護支援会計区分)決算認定について(※決算内容説明並びに決算審査(監査)報告含む。)
- ・議案第 2号 理事及び監事の選任について

◇R元. 11. 29 (金) 午後2時00分

(場所: 緑風園ダイルーム)

- ・報告第 4号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 5号 定期監査の報告について
- ・報告第 6号 平成31年度(令和元年度)上半期(4~9月)の収支状況について
- ・議案第 3号 長期勤続職員顕彰規程の一部改正について

◇R2. 3. 27 (金) 午後2時00分

(場所: 緑風園ダイルーム)

- ・報告第 7号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 8号 定期監査の報告について
- ・報告第 9号 市並びに道の運営指導監査等の結果について
- ・議案第 4号 長期勤続職員顕彰規程の一部改正について
- ・議案第 5号 給与規程の一部改正について
- ・議案第 6号 平成31年度(令和元年度)社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分(法人本部、特養・ショート、デイ)第一次補正予算(案)並びにニナルカの里拠点区分(特養・ショート、居宅)第一次補正予算(案)について
- ・議案第 7号 令和2年度事業計画(案)について((特養・ショート)緑風園、デイ緑風園、(特養・ショート)ニナルカの里、緑風園居宅)
- ・議案第 8号 令和2年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分(法人本部、特養・ショート、デイ)当初予算(案)並びにニナルカの里拠点区分(特養・ショート、居宅)当初予算(案)について

利用者の処遇

(1) 生活援助・相談

介護保険の理念である自立の促進に努めると共に利用者の自由と自主性を尊重し、個人的問題、相互関係、共同生活上の諸問題について、相談・助言を行うと共に、利用者と職員の懇談会を行う等、利用者の全体的問題、ニーズを把握し、意見・要望を日常生活に反映するように努め、ホームの生活に新たな生きがい・希望・喜びを見いだせるよう職員一同、万全の対策を施すことに努力してきた。

同時に「脱集団処遇」をスローガンに、それぞれの利用者の個別ニーズに対応する為、施設のケア体制を「グループケア方式」に変更し、個人の生活スタイルに合わせた生活の構築ができ得るスーパービジョンを実施している。

(2) 個別処遇

個別のケアプランについては、MDS-LAPS 2. 1を用いて作成し、その実施にあたった。そして定期的にモニタリングを行いながら、ケアカンファレンスを開催し、利用者の意見も採り入れ、より質の高いサービスの実施に努めると共に、本人又は、家族にもプランを公表し、広く実施の同意を得てきた。尚、状況変化以外の定期的なプランの見直しは半年毎に行っている。

(3) 給食サービス

平成27年8月より日清医療食品㈱との給食業務委託契約を結び、給食サービスを外部委託したことにより、嚥下状態が悪い利用者に対して、食材をペースト状にし、形成したソフト食を提供できるようになり、出来る限り経口摂取で食事を楽しんでもらえるようになった。

更に、「あたたかいものは、あたたかいうちに」「冷たいものは、冷たいままに」という配慮から、様々な工夫を凝らすと共に、野外食（夏期）、鍋の日（冬期）等で出来立てのものを食べられる機会を多く設ける等、個々のニーズに対応できるように多くの機会に二重献立を実施している。又、日本各地のご当地メニューやお楽しみ昼食会を月1回実施し、利用者の希望する献立や他職員が提案した献立により、楽しんで食事をとって頂ける機会を作っている。又、毎月1回の給食会議を行い、利用者の嗜好・意見等に沿った献立に反映させるように努めている。

以上は、管理栄養士及び委託先の栄養士共同による月間予定献立により、カロリー・栄養価を十分に配慮して行われているが、時には身体の状況、疾病等により医師の指示に基づく特別食も実施している。

(4) 医療サービス

利用者の健康を保障する医療サービスについては、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診（精神科医師、内科医師）、必要に応じ随時、歯科医師の往診等の連携のもと、入園時健診や事業計画に基づく、心電図、採血、尿検査等を行うと共にそれ以外にも緊急時等、医師の指示により適切かつ必要な処置を行い、利用者個々の状況把握と適切な処置に、尚一層努めている。又、看取り介護となった場合は、利用者の身体的・精神的苦痛を少しでも和らげられるように対応することに努めている。

(5) 入浴サービス

現在、当園では、毎日を入浴日とし、特浴、中間浴、一般浴等の方法で一人最低週2回の入浴を実施する他、随時清拭により、利用者の清潔保持に努め、褥瘡防止と快適な生活を送られるよう配慮している。

平成15年度に整備しました温泉浴室「千寿の湯」を有効利用し、温泉入浴という一層充実した入浴サービスを行い、又、平成15年度の車椅子浴室の増設、平成18年度と平成24年度の特設浴槽装置とADL入浴装置の更新により、更なる入浴サービスの向上に努めた。

(6) リハビリテーションの実施

当園でのリハビリは、『不自由な手や足』へ対するものではなく、『不自由な手や足を持つ人間そのもの』へ対するものだとの考えから、理学療法、作業療法のみならず日常生活全般にわたる働きかけの中で、臥床状態からの脱皮、身体機能減退のスローダウン、精神的な自主性回復に取り組んでいる。

又、回想法による認知症予防、療育音楽の導入、遊びりテーションの実施等で楽しみながら健康づくりを行ってきた。

(7) レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に一人一人の誕生日を祝っている。又、その際に葉書等で家族へも参加を促している。又、季節感を十分取り入れた行事を実施し、生活の単調化に変化を持たせると共に、利用者の参加の意欲を啓発し、日々の生活が張りのあるものになることに努めてきた。又、ボランティアとの交流や近隣名所見学等による地域社会との交流を深め、利用者が社会的存在としての立場を感じ得るように努めている。又、これらの行事も全体で集団的に行う行事から、個人の希望に沿った小単位のレクリエーションや行事の実施へと変換させている。

又、屋外ログハウス風大ステージを利用し、夏期の行事は北海道の短い夏を有効に過ごすべく、屋外行事を多く取り入れて行った。

さらに、外出行事を多く組み入れ、利用者の外出機会の確保に努めてきた。

(8) クラブ活動の実施

日常生活の中の趣味の活動を推奨すると共に、作業療法の側面も含め、書道（坂本義昭先生）、華道（吉岡由希子先生）並びにカラオケのクラブ活動を推進してきた。

(9) 災害・事故防止

当園は、全館のドアを全て非常警報と連動した電気錠とすると共に、ナースコールの受信をPHSで行える設備、テンキーによる防火ドアの開閉装置等、防災と防犯、利用者の安全確保の為の最新技術を導入する等と併せて、防災訓練を定期的に行い、利用者のより快適で安全な暮らしを保証するよう努めた。

(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

平成12年4月1日よりスタートした介護保険の短期入所生活介護（ショートステイ）の専用ベットを12床設けている。

令和元年度中の利用実人数は、201人。延べ利用日数は、1,846日で、平成30年度より40人減、277日の利用増となった。令和元年度の1日平均の利用者は5.04人であった。

月別の利用状況は、次ページの表のとおりである

要介護度別利用者状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

		要支援		要介護度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実人員	0	0	4	6	3	4	0	17
	延利用日数	0	0	39	33	21	47	0	140
5月	実人員	0	0	6	4	5	2	0	17
	延利用日数	0	0	51	24	29	6	0	110
6月	実人員	0	1	8	5	2	1	0	17
	延利用日数	0	5	41	60	16	7	0	129
7月	実人員	1	2	6	6	2	1	0	18
	延利用日数	3	25	36	69	19	3	0	155
8月	実人員	0	1	9	7	3	3	1	24
	延利用日数	0	27	79	54	24	38	8	230
9月	実人員	1	0	7	5	4	3	1	21
	延利用日数	3	0	77	61	34	33	9	217
10月	実人員	0	0	8	8	3	2	1	22
	延利用日数	0	0	74	80	26	15	7	202
11月	実人員	0	0	6	3	3	2	1	15
	延利用日数	0	0	75	32	32	3	14	156
12月	実人員	0	0	4	2	4	1	0	11
	延利用日数	0	0	60	15	39	5	0	119
1月	実人員	0	0	4	3	4	1	0	12
	延利用日数	0	0	61	20	37	2	0	120
2月	実人員	0	0	4	2	4	3	0	13
	延利用日数	0	0	38	17	64	19	0	138
3月	実人員	0	0	5	2	3	4	0	14
	延利用日数	0	0	48	10	56	16	0	130
計	実人員	2	4	71	53	40	27	4	201
	延利用日数	6	57	679	475	397	194	38	1,846

(11) 「家族通信」の発刊(毎月)

昭和62年8月より、毎月、緑風園「家族通信」を発刊し、家族等に配布し、家族等に対して園の行事等の情報を数多く提供するように努めている。

(12) ホームページでの情報提供

平成13年6月21日よりWEBサイトに緑風園のホームページを作製しインターネットを通じ全国の方々に園の情報を発信している。平成29年5月には、緑風園のFacebookページを開設し、情報発信をおこなっており、平成30年3月にリニューアルを行いスマートフォン・タブレット端末からも見やすいよう専用ページを開設した。さらに、ホームページ上から職員応募や問い合わせが行える機能を設置するなど、職員募集の強化を行った。

在 所 者 集 計 表

令和2年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数

(人)

在 所 者	99人	男 性	15人
		女 性	84人

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層

(人)

	65歳未満	65~70歳未満	70~80歳未満	80~90歳未満	90歳以上	合計	平均年齢(歳)
男 性	0人	3人	3人	6人	3人	15人	80.7歳
女 性	0人	2人	16人	37人	29人	84人	86.3歳
計	0人	5人	19人	43人	32人	99人	85.5歳

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
	(人)	19人	8人	47人	12人	9人	4人	99人	男
								女	1,005.8日
								計	946.1日

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数)

(人)

認知症自立度	寝たきり度	寝たきり度判定基準				計
		ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	
認知症は認められない		0人	0人	0人	0人	0人
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I	0人	0人	0人	0人	0人
	ランク II	0人	0人	1人	0人	1人
	ランク III	0人	21人	51人	4人	76人
	ランク IV	0人	4人	13人	5人	22人
	ランク M	0人	0人	0人	0人	0人
計		0人	25人	65人	9人	99人

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0人	0人	6人	5人	4人	15人	3.9
女性	0人	3人	20人	35人	26人	84人	4.0
計	0人	3人	26人	40人	30人	99人	4.0

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社副施設	その他	合計
男性	6人	5人	0人	3人	0人	1人	0人	0人	0人	15人
女性	32人	31人	0人	17人	2人	1人	1人	0人	0人	84人
計	38人	36人	0人	20人	2人	2人	1人	0人	0人	99人

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	0人	9人	21人	35人	32人	97人
5月	1人	9人	18人	37人	31人	96人
6月	1人	10人	19人	37人	32人	99人
7月	1人	10人	21人	38人	31人	101人
8月	1人	8人	21人	38人	33人	101人
9月	1人	8人	20人	37人	35人	101人
10月	1人	8人	21人	37人	34人	101人
11月	1人	7人	23人	36人	31人	98人
12月	0人	6人	24人	36人	31人	97人
1月	0人	5人	25人	39人	30人	99人
2月	0人	4人	25人	39人	32人	100人
3月	0人	3人	27人	40人	30人	100人
計	7人	87人	265人	449人	382人	1,190人

<資料 8>

8. 施設監査等の状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

年 月 日	内 容	実施者 (出席者)
定期監査等		
H31. 4. 24	内部監査～法人及び施設運営全般	当法人～片山、猪股両監事
R元. 5. 30	決算審査～一般会計及び特別会計	同上 ～同上
R元. 7. 24	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
R元. 10. 30	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
R2. 1. 29	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
R2. 2. 25	法人指導監査に係る立会い	同上 ～同上
入所判定委員会		
H31. 4. 23	H31年度第1回入所判定委員会	当園～小田総合施設長、永山ニナルカの里施設長、中村施設ケア係長、篠崎主任看護師、宮腰SW、所ケアマネジャー、奥山ニナルカの里SW 当法人～千葉理事長、片山監事 第三者委員～西川原委員、杉本委員、吉田委員、太田委員
R元. 7. 30	R元年度第2回 〃	
R元. 10. 29	同上 第3回 〃	
R2. 1. 30	同上 第4回 〃	

<資料 9>

9. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修等)	(参加・出席者)
令和元年		
5月19日	“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア(札幌市)	CW
5月22日	民生委員推薦会(登別市)	総合施設長
5月30日	園内研修「看取り介護研修」	CM、SW、NS、CW、栄養士
6月17日	食事の“不良姿勢”に有効なポジショニング(札幌市)	CW
6月17日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
6月18日	民生委員推薦会(登別市)	総合施設長
6月21日	園内研修「身体拘束廃止研修会」	CM、SW、NS、CW
6月26日	参議院議員選挙不在者投票事務担当者会議	事務員
6月26日～27日	令和元年度 日胆地区老人福祉施設職員研究大会(登別市)	SW、CW
6月28日	特養エンルムハイツへ施設見学	事務員、CW
7月8日	安全運転管理者講習(室蘭市)	管理係長
8月7日～8日	新任相談援助職員研修(札幌市)	SW
8月22日	園内研修「口腔ケア研修」	CM、SW、CW
8月23日	令和元年度 北海道介護支援専門員 更新研修(札幌市)	CM
8月23日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
10月2日	令和元年度 日胆地区老人福祉施設直接処遇職員研修会(苫小牧市)	CW
10月2日～3日	令和元年度 北海道介護支援専門員 更新研修(札幌市)	CM
10月17日	三愛病院 院内研修「感染対策研修会」	NS
10月17日	民生委員推薦会(登別市)	総合施設長
10月21日	園内研修「高齢者虐待研修」	CM、SW、CW
10月24日	介護保険施設等集団指導(室蘭市)	総合施設長、事務員

11月5日～6日	令和元年度 北海道介護支援専門員 更新研修 (札幌市)	CM
11月22日	園内研修「他施設の取組を学ぶ～結婚式出席までの取組」	CM、SW、CW、栄養士
12月16日～18日	令和元年度 北海道介護支援専門員 更新研修 (札幌市)	CM
12月17日	園内研修「身体拘束廃止研修会」	SW、NS、CW
12月20日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
令和2年		
1月30日	登別市社協 買物支援事業会議 (婦人センター)	総合施設長
1月31日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
2月17日	民生委員推薦会 (登別市)	総合施設長

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

デイサービスセンター 緑風園

目 次

目次	1
1. 基本的なサービス実施状況について	2
2. デイサービス行事活動実施状況について	2
3. 主な日常的活動	2
資料1 デイサービス事業実績報告書	別紙

平成 31 年（令和元年）度事業報告

1. 基本的なサービス実施状況について

要介護利用者の利用を重点に置き、要支援者の利用も行いながら、定員 18 名の地域密着型通所介護の運営を行うため、利用回数の増、欠席された方へ振替利用できる事の提示、他事業所への営業回数を増やし空き状況をお知らせし新規利用者の獲得等、利用回転率を上げ、一日利用回数の人数を 16 名～17 名の出席を目指しましたが、新規契約し通所されたものの、入院してしまったり、家庭の事情等により突然利用終了されるケースが見られています。

体調不良や入院者、入院中に亡くなった方、在宅困難者、長期の老健入所が重なったこともあり、利用人数の大幅減少が見られています。また、定期的に月初め、月中の営業を実施し、毎月のように数名の体験利用希望あり、受け入れしていますが、体験当日になって拒否され通所されなかった方や体験利用されたが、本利用につながらないケースも多々あり、理由のほとんどは行ってみて温泉や雰囲気は良かったが、場所が遠く、行くまでに疲れてしまうという理由がほとんどであり、実際に利用されている利用者の中でも送迎時間が長くて辛いとの理由で利用終了された方もいるのが現状です。

2. デイサービス行事活動実施状況について

- ・ 5 月～花見ドライブ（室工大方面、亀田記念公園方面）
- ・ 6 月～野外食（ジンギスカン、海鮮焼き）雨天続き室内で実施
- ・ 8 月～茶話会時にカキ氷
- ・ 9 月～敬老会（月：フラダンス、火：歌謡ショー、水：フラダンス、木：歌謡ショー、金：オカリナ）
- ・ 10 月～紅葉狩りドライブ（カルルス、登別温泉方面）
- ・ 11 月～鍋パーティー（キムチ鍋、胡麻味噌豆乳鍋、寄せ鍋）
- ・ 12 月～餅つきクリスマス会、忘年会
- ・ 2 月～豆まき
- ・ 3 月～ひな祭り茶話会、鍋パーティー（醤油豚骨鍋、キムチ鍋、塩ちゃんこ鍋）

3. 主な日常的活動

- ・ 全体体操、立位材訓練、歩行訓練
- ・ 体力測定
- ・ カラオケ（ソロ、デュエット等で楽しんでいます。）
- ・ 余暇・制作活動（間違い探し、積み上げゲーム等の余暇活動やゴミ箱作り、ちぎり絵や貼り絵等の制作活動を楽しんでいます。）
- ・ 月に 1 度の茶話会の実施。（好みの飲み物を選んでいただいています。8 月にはカキ氷を提供し、実際にご利用者様にもカキ氷を作っていただいています）

平成31年度(令和元年) デイサービス事業実績報告書

デイサービスセンター 緑風園

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
要支援1	8	35	8	31	8	33	9	39	8	25	6	22	6	27	6	26	7	28	6	23	7	27	7	22	7	22	86	338
要支援2	10	72	11	68	11	69	11	77	11	72	10	63	10	74	11	57	10	58	10	57	7	41	7	44	7	44	119	752
要介護1	12	92	13	96	12	75	10	74	9	60	10	67	11	76	11	84	12	74	9	49	12	64	13	106	134	917		
要介護2	7	50	6	44	6	53	7	61	7	41	8	44	10	53	9	62	8	53	6	31	9	39	9	60	9	60	92	591
要介護3	4	24	4	25	4	26	4	22	3	16	3	16	3	16	2	14	2	18	2	13	1	7	1	7	1	8	33	205
要介護4	2	12	2	10	1	7	1	8	2	12	2	11	2	11	2	9	2	9	1	6	1	7	1	7	1	9	19	111
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	285	44	274	42	263	42	281	40	226	39	223	42	257	41	252	41	240	34	179	37	185	38	249	38	249	483	2914
延べ入浴数(一般)	263		251		230		243		199		202		237		234		225		167		174		225		225		2650	
延べ入浴数(特浴)	19		18		32		36		26		20		20		15		15		11		11		22		22		245	
延べ食事数	285		274		263		281		226		223		257		252		240		179		185		249		249		2914	
延べ機能訓練数	276		263		253		268		216		215		245		242		230		169		175		240		240		2792	
開所日数	21		20		20		22		21		19		21		20		21		19		18		21		21		243	
1日平均利用数	13.5		13.7		13.1		12.7		10.7		11.7		12.2		12.6		11.4		9.4		10.2		11.9		11.9		11.9	
新規利用者数	2		2		0		2		0		0		2		3		4		0		3		2		2		20	
利用中止者数	3		2		0		2		2		0		3		0		1		2		4		2		2		21	
登録者数(男)	10		10		10		10		10		10		10		11		10		10		10		10		11		11	
登録者数(女)	34		34		34		34		34		34		31		34		37		35		34		34		33		33	
登録者数(※)	44		44		44		44		42		42		41		44		47		45		44		44		44		44	

平成31年(令和元年)度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里

目 次

1. 事業の概況	1
(1) 事業種類	1
(2) 事業規模	1
2. 事業の実施状況	
(1) 生活援助	1
(2) 個別支援	2
(3) 健康管理	2
(4) 生活環境への配慮・衛生管理	2
(5) 会議開催状況	2
(6) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	2～3
(7) 「家族通信」の発刊（毎月）	3
(8) ホームページでの情報提供	3
<資料 1> 1. 在所者の人数	4
<資料 2> 2. 在所者の年齢階層	4
<資料 3> 3. 在所者の在所期間	4
<資料 4> 4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	4
<資料 5> 5. 在所者の要介護度	5
<資料 6> 6. 新規入所者の入所前居所	5
<資料 7> 7. 各月初日現在入所者数	5
<資料 8> 8. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	6

緑風園サテライト型特別養護老人ホームニナルカの里の事業運営については、入居者様一人ひとりの意思及び人格を尊重し、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営めるよう、施設サービス計画に基づき個別ケアの実践に務めました。また、地域社会に開かれ、地域に根差した施設の運営を行うべく取り組んでまいりました。

1 事業の概要

(1) 事業種類

ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設

短期入所生活介護（予防含む）

(2) 事業規模

定員：地域密着型特別養護老人ホーム（29名）

短期入所生活介護（11名 ※内1名は緊急ショートステイ）

ユニット区分（ひなげし・りんどう・すずらん・ふくじゅそう 各全室個室10名）

2 事業の実施状況

(1) 生活援助

①食事

給食サービスを日清医療食品㈱に外部委託し、個々の状態に合わせた食形態を提供できるようにしました。また、各ユニット内でご飯・お粥を炊飯することにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者様に盛り付けや下膳の手伝いをしていただくことにより、入居者様の生きがいの創出ができるよう取り組みました。

②入浴

入浴回数は一人につき週2回以上とし、本人の希望により入浴できるようほぼ毎日入浴を実施しました。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮しゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けました。個浴での対応が困難な方においては車椅子対応の中間浴、特浴にて対応し、安全に安心して入浴ができるよう努めました。体調不良などで入浴できないときは清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者様がより快適に過ごすことができるよう努めました。

④自分らしい生活

個々人の生活のリズムを大切にし、本人の意思を確認しながら支援に努めました。また、入居者様が自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けや行いたいことのサポートをすることに努めました。

⑤レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に各ユニットで誕生会を行いました。また、ボランティアや地域の老人クラブ保育所の園児との交流会や、ユニット毎におやつ作りやカラオケ、的当てゲームなどを行いました。

また、桜巡りなどの外出行事の他、ご家族や地域の老人クラブの皆様の協力を頂き初めてニナルカの里夏祭りを開催することができました。

⑥災害・事故防止

当施設の玄関は非常警報と連動した電気錠となっており、ナースコールの受信をPHSで行える設備、各出入り口を確認できる防犯カメラを設置することで、防災と防犯、入居者様の安全確保を図るとともに、年2回消防避難訓練（防災訓練兼ねる）を行い、入居者様が安心して暮らせるよう取り組んでいます。

(2) 個別支援

個別のケアプランについては、MDS-LAPS2.1 を用いて作成し、定期的にモニタリングを行いながらケアカンファレンスを開催するとともに、24 時間シートを活用し、個別性のあるサービスを提供できるように取り組んできました。また、状況変化以外の定期的なケアプランの見直しは半年毎に行っています。

(3) 健康管理

入居者様が心身ともに健康で充実した日常生活が送れるように、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診（精神科医師：週 1 回、内科医師：週 1 回、皮膚科医師：月 2 回）必要時に応じて随時、歯科医師による月 1 回の往診と口腔ケア指導を実施するとともに、年 1 回健康診断を実施し健康管理を行いました。また、インフルエンザなど感染症の流行時期には、入居者様・職員に対し予防接種を実施するとともに、面会者に対しても手洗い、うがいの励行とマスクの着用をもって感染予防に努めました。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

居室はプライベートスペースとして、馴染みの家具などを持ち込んでいただき気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう配慮に努めるとともに、食堂やリビングの共有スペースでは、入居者様同士が楽しく交流できるよう取り組みました。また、各階のエレベーター前のラウンジには、椅子テーブルを配置し入居者様が気軽に過ごしたり、ご家族との面会時に利用していただいております。

施設内の清掃については、クリーンビル開発株式会社と清掃業務委託契約を行い、清潔な生活環境の整備を図り衛生管理に努めました。

(5) 会議開催状況

施設の運営や管理、サービスの向上、情報共有のため、毎月全体会議・給食会議・感染対策委員会・リスクマネジメント委員会・身体拘束廃止委員会を開催するとともに、また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の確保を目的に地域代表者等を委員とし、運営内容について地域から広く意見・助言を求めるため運営推進会議を 2 カ月に 1 回開催しました。

(6) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

短期入所生活介護（ショートステイ）の居室を 11 室設けており、その内 1 室は緊急ショートステイ専用の居室になっており、ケアプランに計画されていない場合でも緊急にショートステイが必要な場合に利用できる居室を確保しています。

令和元年度中の利用実人数は 334 人、延べ利用日数は 2,315 日で、1 日平均の利用者数は 6.33 人となっています。

(※下記、要介護度別利用状況表参照)

ショートステイ要介護度別利用状況表

平成31年4月1日～令和2年3月31日

		要支援		要介護度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実人員	0	3	11	5	4	3	3	29
	延利用日数	0	10	54	56	43	21	18	202
5月	実人員	1	2	9	9	5	4	3	33
	延利用日数	3	3	68	101	42	16	21	254
6月	実人員	0	2	8	9	7	3	3	32
	延利用日数	0	5	46	80	37	21	21	202
7月	実人員	0	1	7	8	6	1	3	26
	延利用日数	0	3	37	83	26	16	11	176
8月	実人員	0	2	5	11	7	3	1	29
	延利用日数	0	6	25	107	35	11	3	187
9月	実人員	0	2	3	12	7	2	2	28
	延利用日数	0	7	12	97	53	22	5	196
10月	実人員	0	1	3	7	13	4	4	32
	延利用日数	0	3	11	78	106	56	9	263
11月	実人員	0	1	3	8	8	5	3	28
	延利用日数	0	1	12	70	48	47	7	185
12月	実人員	0	1	4	13	5	3	2	28
	延利用日数	0	2	17	87	43	18	5	172
1月	実人員	1	2	2	10	5	3	2	25
	延利用日数	4	12	9	68	43	26	6	168
2月	実人員	0	2	5	5	5	3	2	22
	延利用日数	0	6	29	49	30	19	6	139
3月	実人員	0	5	2	8	3	2	2	22
	延利用日数	0	38	24	61	13	21	6	163
計	実人員	2	10	30	33	23	9	7	114
	延利用日数	7	96	341	937	522	294	118	2,315

(7) 「家族通信」の発刊

平成30年12月より毎月、家族通信として「ニナルカの里通信」を発刊し、家族等に配布し、施設の行事や入居者様の様子等の情報を数多く提供するように努めています。

(8) ホームページでの情報提供

平成30年4月1日より、本体施設である緑風園のホームページ内にニナルカの里のページを作成し施設の情報を発信しています。ホームページ内では行事や活動のトピックス、ニナルカの里通信、パンフレット等の閲覧や、オンラインでの入所申込、ショートステイの空き状況、料金表の確認の他、運営推進会議の議事録を閲覧することができます。

在 所 者 集 計 表

令和2年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数 (人)

在 所 者	2 9	男 性	1 0
		女 性	1 9

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層

(人)

	65歳未満	65~70歳未満	70~80歳未満	80~90歳未満	90歳以上	合計	平均年齢(歳)
男 性	0	1	1	4	4	10	87.2
女 性	0	0	2	8	9	19	87.6
計	0	1	3	12	13	29	87.4

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
	(人)	7	2	20	0	0	0	29	男
								女	377.9
								計	472.8

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数)

(人)

寝たきり度 認知症自立度		寝たきり度判定基準				計
		ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	
認知症は認められない		0	0	0	0	0
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I	0	0	1	0	1
	ランク II	0	4	8	0	12
	ランク III	0	6	8	0	14
	ランク IV	0	0	2	0	2
	ランク M	0	0	0	0	0
計		0	10	19	0	29

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	3	0	6	1	10	3.50
女性	1	1	5	10	2	19	3.58
計	1	4	5	16	3	29	3.55

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社福祉施設	その他	合計
男性	3	3	0	3	0	0	0	0	1	10
女性	7	7	0	4	0	0	1	0	0	19
計	10	10	0	7	0	0	1	0	1	29

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	0	4	12	11	2	29
5月	0	4	10	13	2	29
6月	0	4	9	14	2	29
7月	0	4	9	14	2	29
8月	0	4	8	14	2	28
9月	0	4	8	14	3	29
10月	0	4	8	14	3	29
11月	1	3	8	14	3	29
12月	1	3	8	14	2	28
1月	1	3	7	16	2	29
2月	1	4	5	17	2	29
3月	1	4	5	16	3	29
計	5	45	97	171	28	346

<資料 8>

8. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修等)	(参加・出席者)
平成31年		
4月18日	三愛病院院内研修「感染対策研修」	SW、事務員
4月19日	のぼりべつケアマネ連絡会	SW、CM
4月26日	ボランティア推進のための会議	SW
令和1年		
5月15日	地域包括支援センター主催「ケアマネネットワーク交流会」	SW、CM
5月19日	全国高齢者施設看護師会研修（札幌市）	NS、CW
5月22日～23日	ユニットリーダー研修（札幌市）	CW
6月10日	施設職員スキルアップ講座【中堅職員】	CW
6月17日～20	ユニットリーダー実地研修（豊浦町）	CW
6月17日	全国高齢者施設看護師会研修（札幌市）	NS、CW
7月10日	三愛病院院内研修「行動制限最小化研修会」	施設長、SW
7月19日	のぼりべつケアマネ連絡会	CM
8月29日	三愛病院院内研修「接遇研修」	CW、事務員
9月6日・9日	介護福祉士実習生受入勉強会	施設長、SW、CW
9月12日～13日	ユニットリーダー研修（札幌市）	CW
9月16日	全国高齢者施設看護師会研修（札幌市）	NS
10月2日	日胆地区直接処遇職員研修会「認知症・口腔ケア」（苫小牧）	CW
10月7日～10日	ユニットリーダー研修実地研修（札幌市）	CW
10月8日～9日	登別市介護入門研修	CW
10月11日	のぼりべつケアマネ連絡会	SW、CM
10月17日	三愛病院院内研修「感染対策研修」	施設長、CW
10月24日	令和元年度介護保険施設等集団指導（室蘭市）	施設長、SW
11月7日	三愛病院院内研修「感染対策再研修」	NS
11月9日	3市1町ケアマネ合同研修会	SW、CM
11月12日	認知症勉強会	施設長、CM、CW、事務員
	地域包括支援センター主催「ケアマネネットワーク交流会」	CM
11月16日～17日	介護福祉士実習指導者講習会（札幌市）	CW
11月30日～12月1日	介護福祉士実習指導者講習会（札幌市）	CW
12月16日～18日	介護支援専門員専門研修（札幌市）	CM
12月17日	身体拘束廃止に関する勉強会	全職員
12月18日	日胆地区老施協相談員部会「成年後見人制度」	SW
令和2年		
1月30日	三愛病院院内研修「接遇研修」	事務員
2月14日	のぼりべつケアマネ連絡会	SW、CM
3月25日	ニナルカの里新人研修	CW

平成31年（令和元年）度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

緑風園居宅介護支援事業所

目次

要介護度別利用者の状況・・・・・・・・・・	<1>
新規受および終了件数・・・・・・・・・・	<1>
月別介護サービス利用状況・・・・・・・・・・	<2>
月別予防サービス利用状況・・・・・・・・・・	<2>
平成31年度事業報告・・・・・・・・・・	<3>

*要介護度別利用者の状況(給付管理数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	22	25	24	25	25	25	24	29	31	27	25	28	310
要介護2	13	14	14	15	13	11	10	10	13	15	15	15	158
要介護3	5	5	6	5	5	6	6	5	6	6	3	2	60
要介護4	5	4	3	4	4	5	6	6	5	4	5	6	57
要介護5	1	1	1	1	3	2	2	2	2	3	3	2	23
小計	46	49	48	50	50	49	48	52	57	55	51	55	610
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20
小計	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	32
合計	49	52	51	53	53	52	51	55	59	57	53	57	642

*新規受および終了件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受け	2	6	2	1	6	0	2	7	1	5	2	3	37
終了	2	1	1	2	3	1	3	5	3	3	0	5	29

*新規依頼元

地域包括支援センター～25件 医療機関～6件 認知症初期集中支援チーム～1件 小規模多機能型居宅介護事業所～1件
 介護老人保健施設～1件 委託受け持ち予防→介護認定～1件 本人家族～2件

*終了事由として

介護保険施設入所～10件 長期入院～9件 小規模多機能型居宅介護支援へ移行～2件 要支援認定～3件
 介護保険利用意向なし～1件 他市へ転居～1件 死亡～3件

* 月別介護サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	11	10	10	12	12	12	13	15	16	15	15	16
訪問看護	10	8	8	10	10	11	11	9	9	9	9	7
訪問リハビリテーション	7	7	6	6	6	7	6	6	8	8	8	8
通所介護	21	20	21	20	21	20	21	22	24	23	23	22
地域密着型通所介護	13	17	17	17	16	15	17	15	15	12	14	14
通所リハビリテーション	4	4	5	5	7	7	8	8	9	9	10	9
短期入所生活介護	6	8	8	7	7	5	10	10	8	10	8	10
短期入所療養介護	0	0	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1
福祉用具貸与	22	23	26	28	29	30	30	31	34	32	33	32
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

* 月別予防サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所介護	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
福祉用具貸与	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1

平成31年(令和元年)度 事業報告

*ケアプラン作成…課題分析方式については、居宅サービス計画ガイドラインで行った。

*サービス担当者会議…認定更新時、ケアプランの見直し等において専門的な見地から意見を求めるため、指定居宅サービス事業所等の担当者と連絡調整を行い、利用者宅または事業所にて会議を開催した。

*主治医との連携…ケアプラン作成において主治医の見地が必要な場合、当該病院へ訪問し主治医と面談、またはMSWとの連携等により情報収集および共有をした。

*ケアプランの実施状況等を把握し、計画の変更等利用者が求めるサービスが提供されるよう、特段の理由がない限り、月に最低一度は必ず訪問を実施した。

*モニタリングについて…事業所や利用者、家族からの情報をもとに、課題の把握と達成度をケアプラン・マネジメント評価表としての記録を実施した。

*居宅介護支援事業所に係る実地指導(8/7)

*研修会等への参加について

- ・のぼりべつケアマネ連絡会 (4/19・5/24・7/19・10/11)
- ・三市一町ケアマネ合同研修会 (11/9)
- ・登別市介護支援専門員実務者ネットワーク交流会 (5/15・11/12)
- ・予防マネジメント勉強会 (6/5)
- ・登別市はいかい高齢者等 SOS ネットワーク会議 (9/18)
- ・登別市障害者自立支援審査会 (5/28・9/24・11/26・3/24)
- ・北海道介護支援専門員更新研修 (12/16～18)

*認定調査について、各市町村からの委託を受け実施した。

- ・登別市～4月：4件、5月：6件、6月：4件、7月：6件、8月：4件、9月：5件
10月：4件、12月：2件